

地震調査研究推進本部政策委員会
第8回成果を社会に活かす部会議事要旨

1. 日時 平成13年11月28日(水) 15時～17時
2. 場所 文部科学省別館第2会議室(郵政事業庁庁舎10階)
3. 議題
 - (1) 地震調査研究推進本部の成果の活用状況について
 - (2) 地震調査委員会における海溝型地震の長期評価の公表のあり方について
 - (3) 地震動予測地図の作成状況について
 - (4) 地震と火山噴火に関する教材製作事業について
 - (5) その他
4. 配布資料
 - 資料成8-(1) 地震調査研究推進本部政策委員会
第7回成果を社会に活かす部会議事要旨(案)
 - 資料成8-(2) 地震調査研究推進本部の成果の活用状況について
 - 資料成8-(3) -①これまでに行われた海溝型地震の長期評価について(概要)
 - 資料成8-(3) -②海溝型地震の長期評価を踏まえた防災対策の充実・強化
 - 資料成8-(4) 海溝型地震の長期評価の公表のあり方
～活断層の長期評価の公表のあり方との比較・考察～(案)
 - 資料成8-(5) 地震動予測地図の作成状況について
 - 資料成8-(6) 地震と火山噴火に関する教材制作について
 - 資料成8-(7) 今後の部会の進め方
 - 参考成8-(1) 宮城県沖地震の長期評価
 - 参考成8-(2) 南海トラフの地震の長期評価
 - 参考成8-(3) 平成13年度の「地震に関するセミナー」の実施状況について
5. 出席者

部会長	廣井 脩	東京大学社会情報研究所長
委員	阿部 勝征	東京大学地震研究所教授
	伊藤 和明	防災情報機構理事・専門委員
	下田 隆二	科学技術政策研究所総務研究官
	中林 一樹	東京都立大学大学院都市科学研究科教授
	菅井 雅昭	内閣府企画官(地震・火山対策担当) (布村委員代理)
	平澤 朋郎	(財)地震予知総合研究振興会 地震調査研究センター所長
	松田 時彦	西南学院大学文学部教授
事務局	須田 秀志	文部科学省研究開発局地震調査研究課長
	中川 勝登	文部科学省研究開発局地震調査研究課 地震調査研究企画官
	森 滋男	文部科学省研究開発局地震調査研究課地震調査管理官

吉田 秀保 文部科学省研究開発局地震調査研究課地震火山専門官
前田 豊 文部科学省研究開発局地震調査研究課課長補佐

6. 議事

- (1) 前回議事要旨が了承された。
- (2) 事務局から、資料 成8-(2)に基づき、地震調査研究推進本部の成果の活用状況の報告がなされた。
- (3) 事務局から、資料 成8-(3)及び(4)に基づき、説明がなされた。その後、海溝型地震の長期評価のあり方について審議を行った。
- (4) 事務局から、資料 成8-(5)に基づき、地震動予測地図の作成状況について報告がなされた。地震動予測地図のサンプル版が出来上がった段階で、防災対策等への活用に関し、本部会で審議を行うこととなった。
- (5) 事務局から、資料 成8-(6)に基づき、地震と火山噴火に関する教材製作事業についての報告がなされた。
- (6) 事務局から、資料 成8-(7)に基づき、今後の部会の進め方について、説明がなされた。